

トラウマを抱えた家族の支援

児童虐待に関する家族支援においてではとかく大人が加害者、子どもは被害者として捉えるような直線的因果律で事例を理解しがちであり、そのために支援者と家族との対立関係が厳しくなることも少なくない。加害・被害の発想から一旦離れて、円環的思考を活用して家族と一緒に考えると、その家族の問題をどのように捉えなおせるのか、そして家族と支援者との関係がどう変化するのだろうか。

また家族が抱えるトラウマが虐待に影響を与えていることも多い。例えば保護者の暴力の背景にフラッシュバックの影響があったり、子どもの発達障害と思しき多動傾向の背景にトラウマによる過覚醒が影響していたりする。家族の状況の改善のためには家族療法的視点に加えてトラウマの視点を活用して様々な工夫が考えられるのではないか。

本ワークショップでは児童虐待対応に役立つと思われる家族療法の考え方、工夫の仕方とトラウマに関する情報を提供する。そして模擬事例を用いて、この二つの視点を取り入れたケース理解と面接の演習を行う。

児童虐待のケースワークに関心のある方、家族支援に関心のある方、トラウマの概念をケースワークに取り入れたい方のご参加をお待ちしています。

記

講師： 遊佐安一郎（長谷川メンタルヘルス研究所）
平岡篤武（心理相談室 樹）
西田泰子（常葉大学短期大学部）
中垣真通（子どもの虹情報研修センター）
菅沼 文（静岡県中央児童相談所）

日時：2026年2月15日（日曜日）10:00～16:00（昼食休憩1時間程度）

場所：全国家電会館（1階A（大会議室）（〒113-0034 東京都文京区湯島3丁目6番1号）最寄り駅：湯島駅 <https://www.jeass.or.jp/>

定員：40名（対面実習のみ、録画視聴なし。定員になり次第申し込みは締め切ります。）

内容：1. 家族支援のシステム論的理解の基礎を学ぶ
2. トラウマインフォームドな視点を学ぶ
3. トラウマを抱える模擬家族との面接のロールプレイ
4. まとめ～全体的討論～

申込期間：2025年12月17日（水）0:00～ 2026年2月9日（月）23:55

参加区分と参加費：

- ① 日本家族心理学会会員正会員、家族心理士・家族心理士補・家族相談士の有資格者：8,000円
- ② 学生会員、非会員の学生（大学院生・学部生）：5,000円
- ③ 一般参加者：10,000円

研修ポイント

- * 家族心理士・家族心理士補・家族相談士；2ポイント
- * 臨床心理士；2ポイント（申請予定）
- * 研修証明書は、録画視聴期間終了後の受講後アンケートへの回答が必須となります。アンケート回答期限以降は発行できませんのでご注意ください。